

図1 東アジアと先進主要国における感染者数の推移

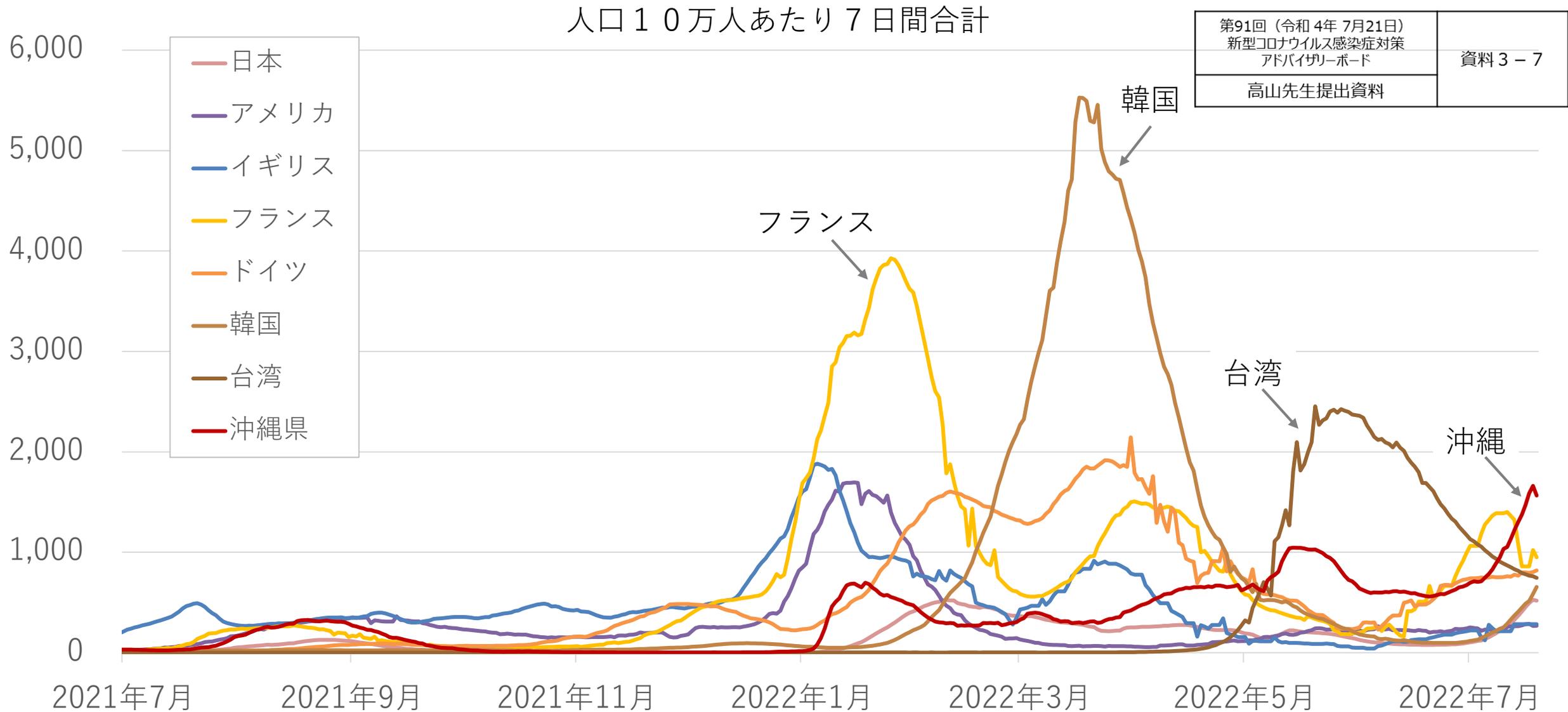


図2 東アジアと先進主要国における死亡者数の推移

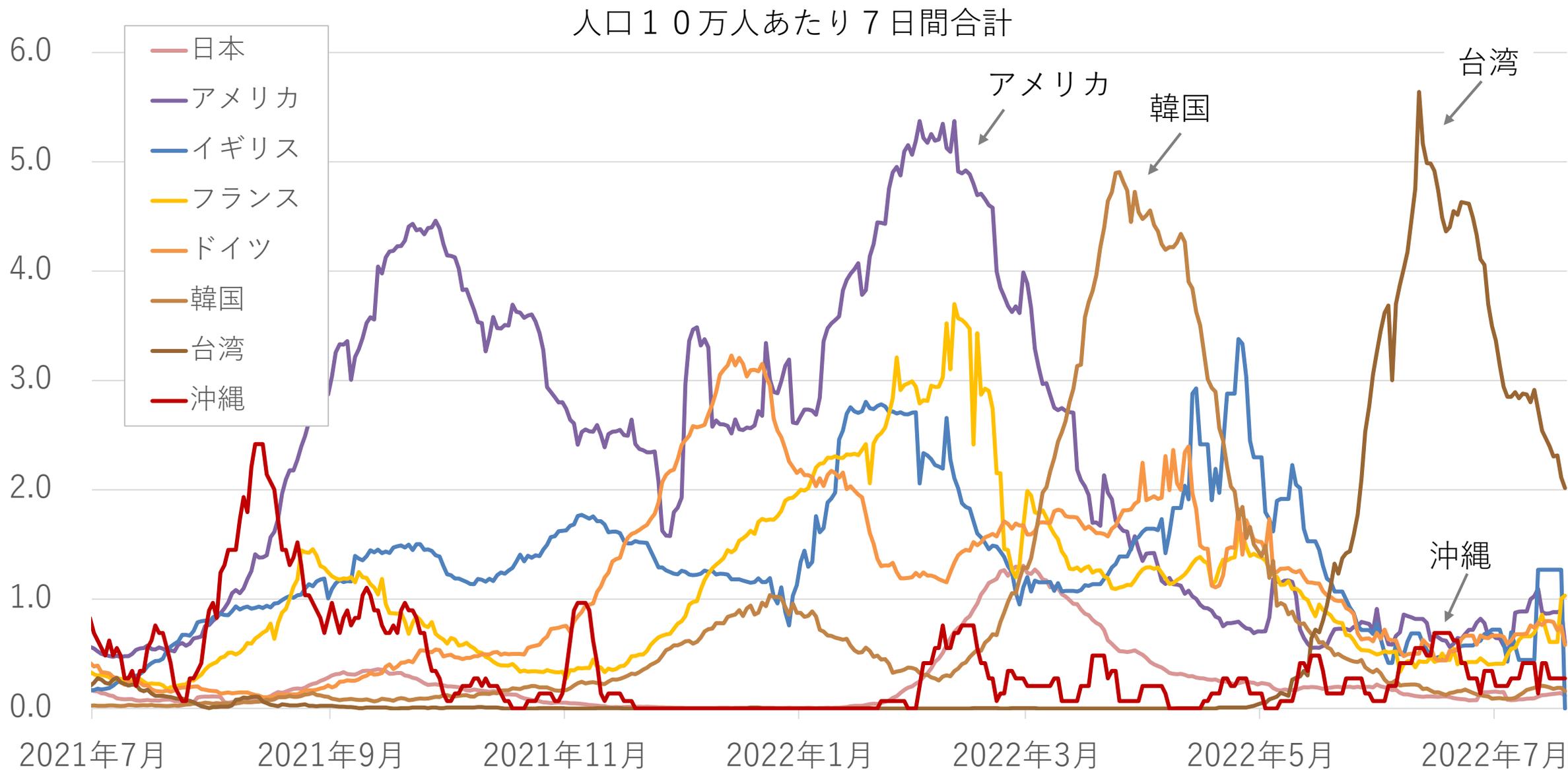
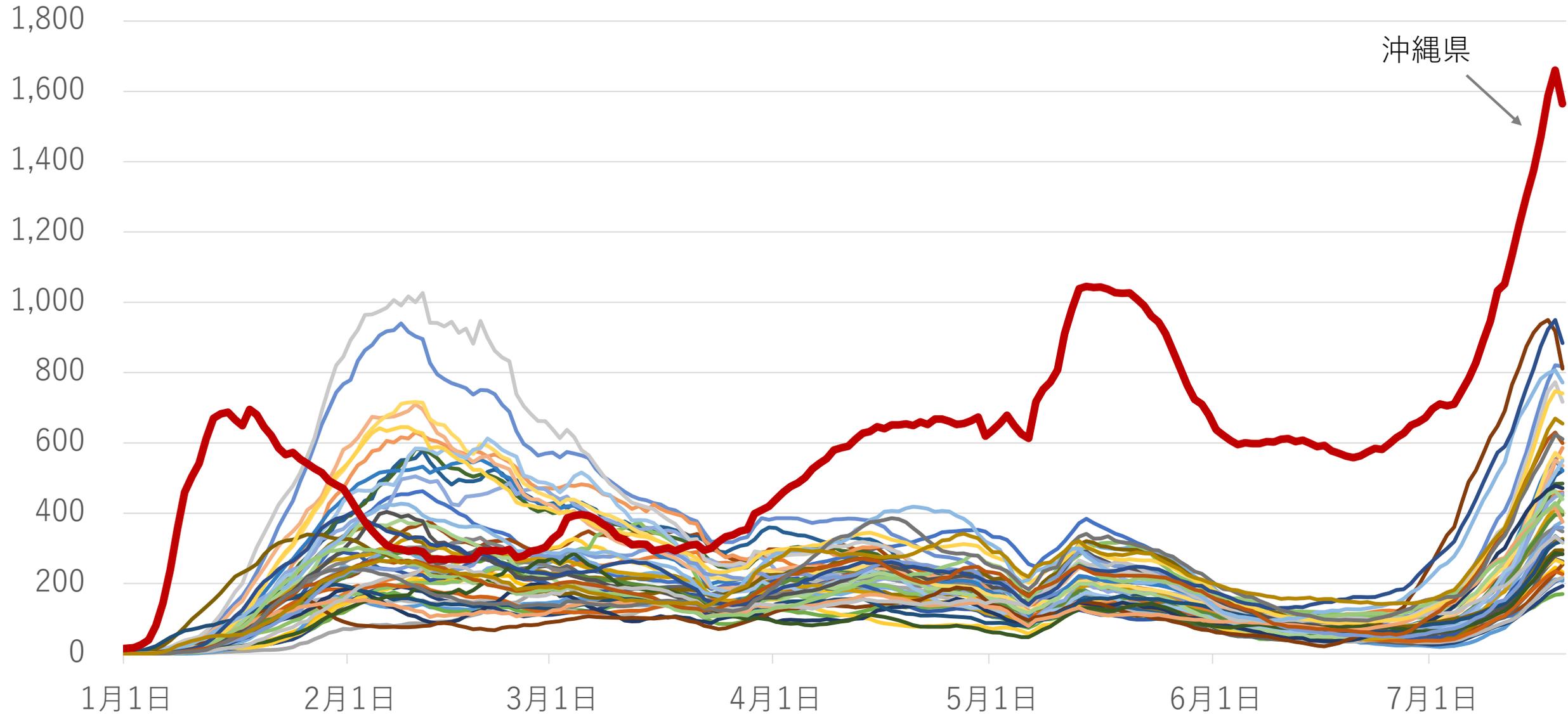
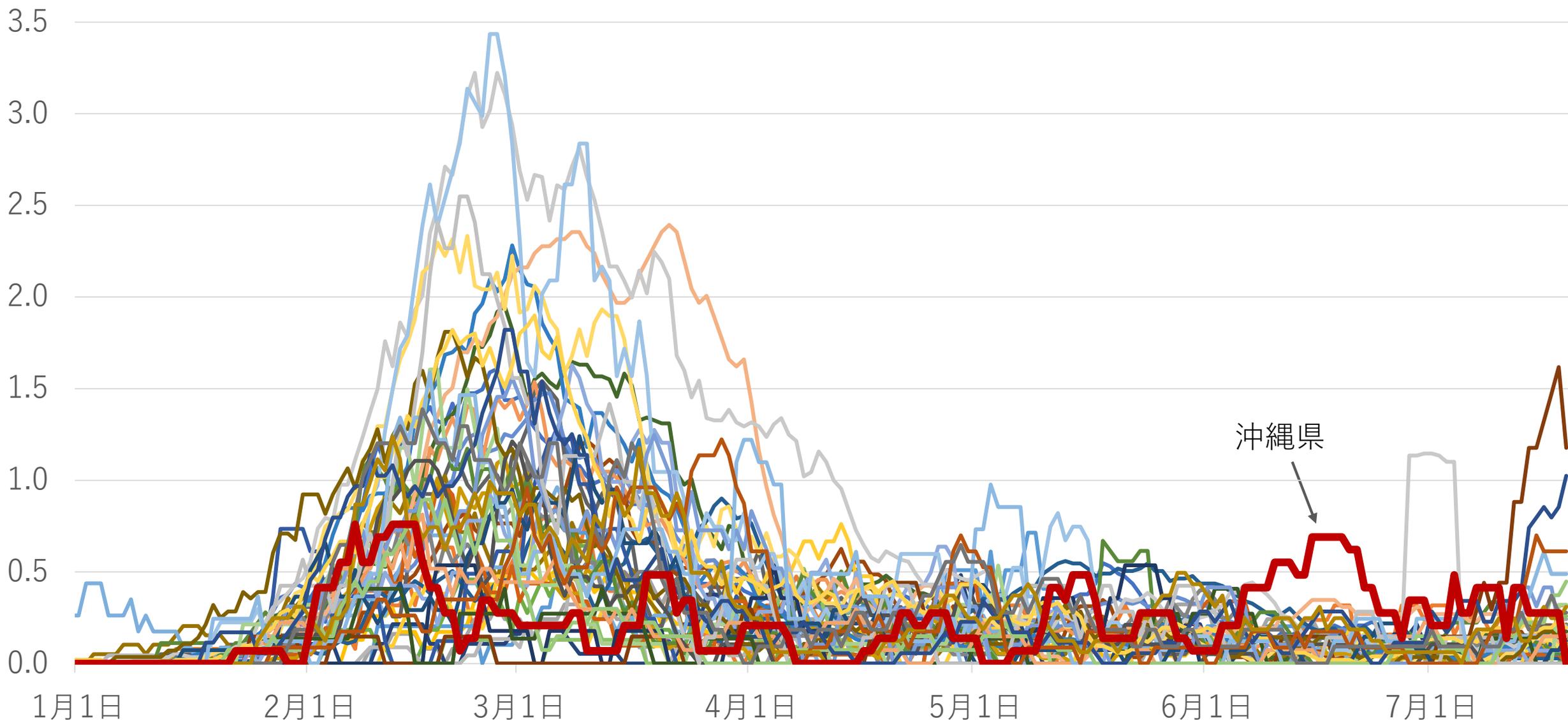


図3 都道府県別にみる新規陽性者数の推移 (人口10万人あたり7日間合計)



出典：NHK特設サイト「新型コロナウイルス」掲載の都道府県ごとの陽性者数をもとに作図

図4 都道府県別にみる死亡者数の推移 (人口10万人あたり7日間合計)



出典：NHK特設サイト「新型コロナウイルス」掲載の都道府県ごとの陽性者数をもとに作図

図5 保健所管区別に見る新規陽性者数の推移（沖縄県）

人口10万人あたり7日間合計

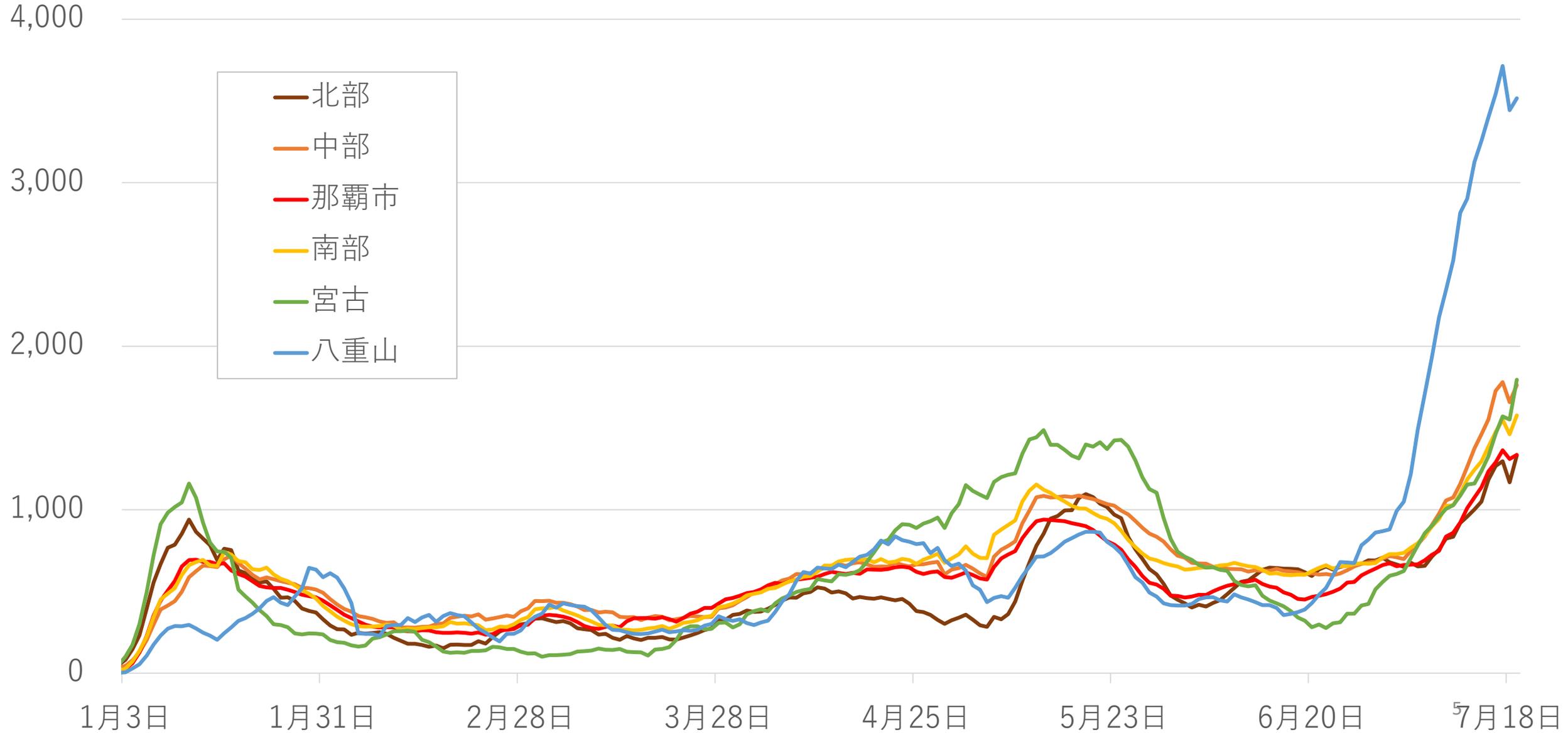


図6 年齢階級別にみる新規陽性者数の推移 (人口10万人あたり7日間合計)

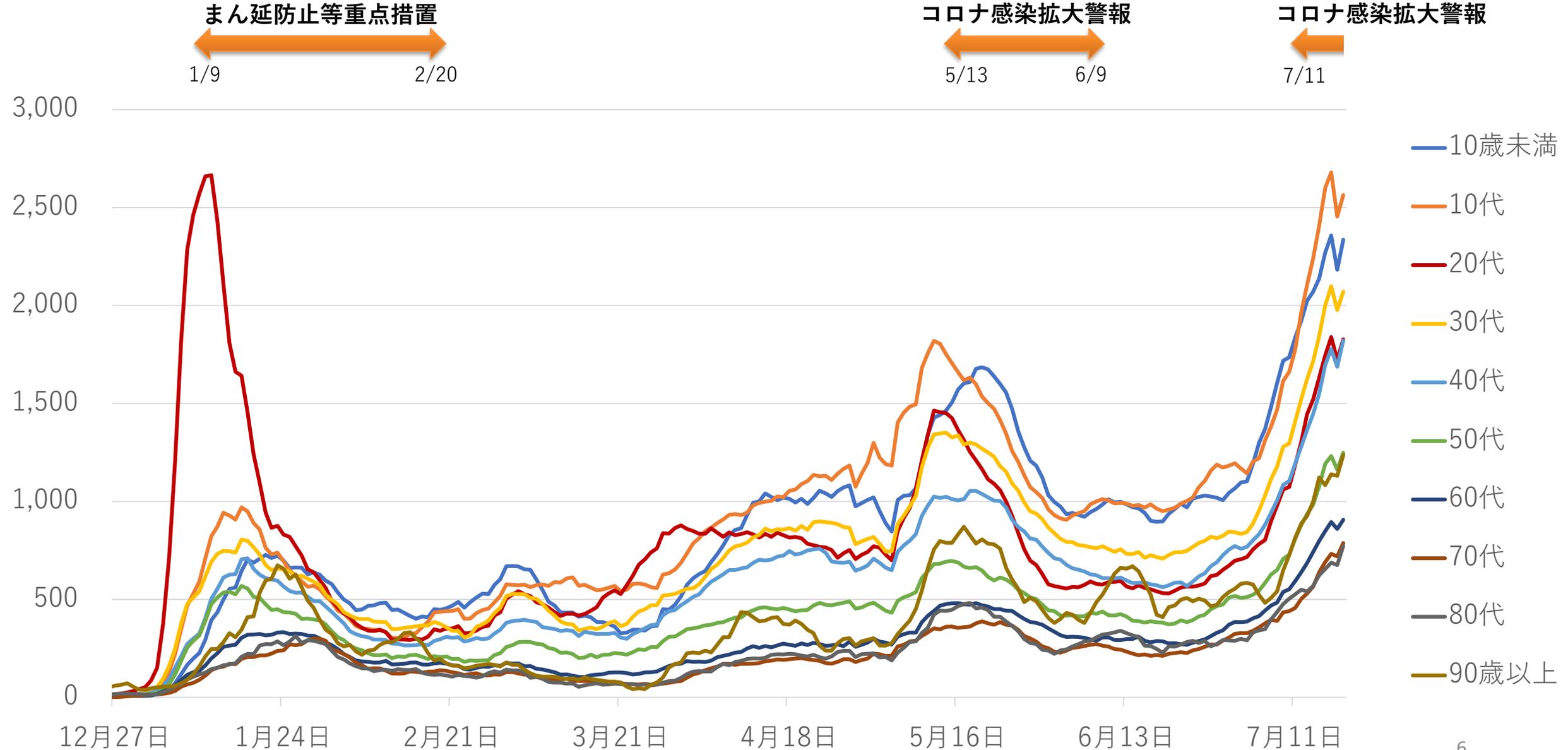


図7 新規陽性者数と重症度別入院患者数の推移（沖縄県）

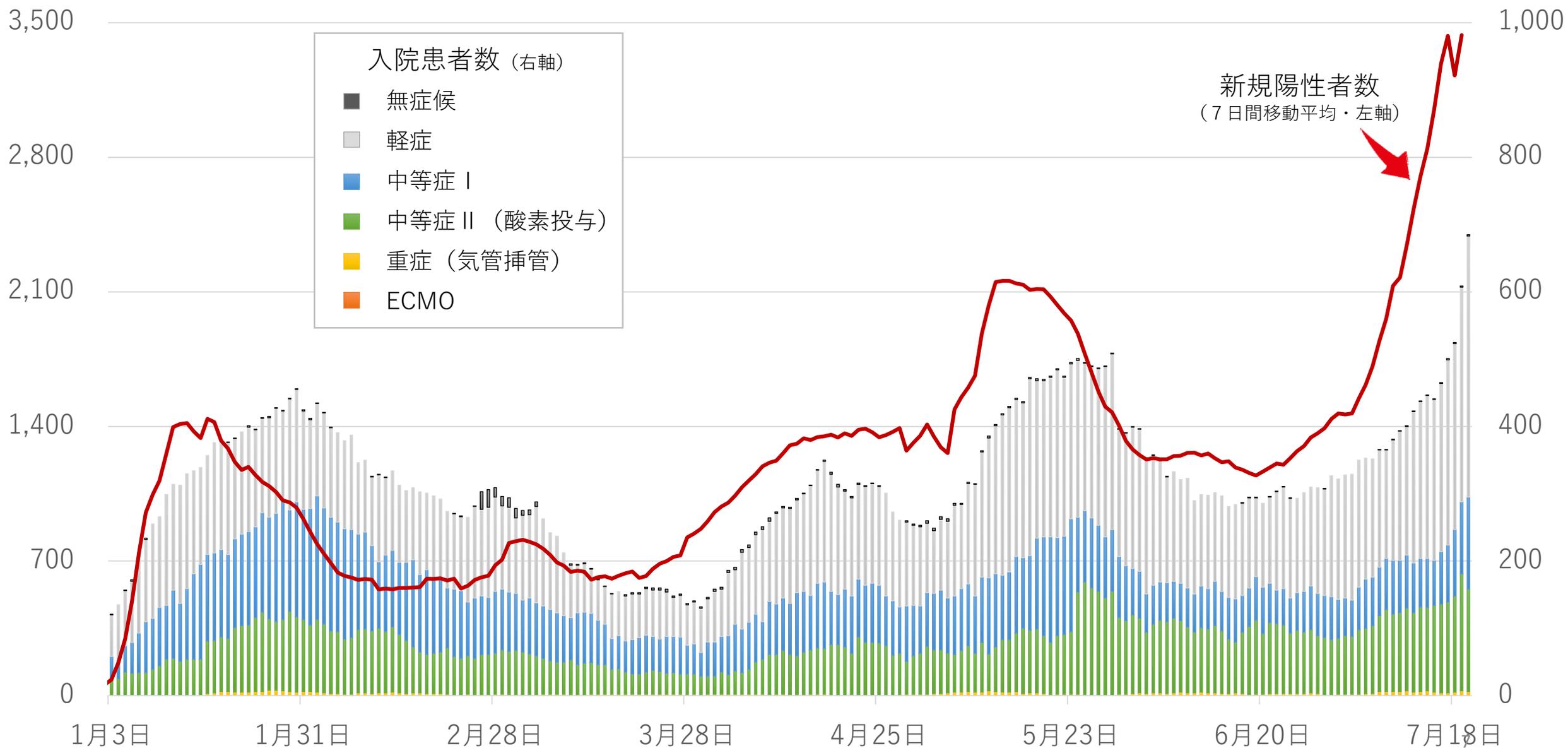
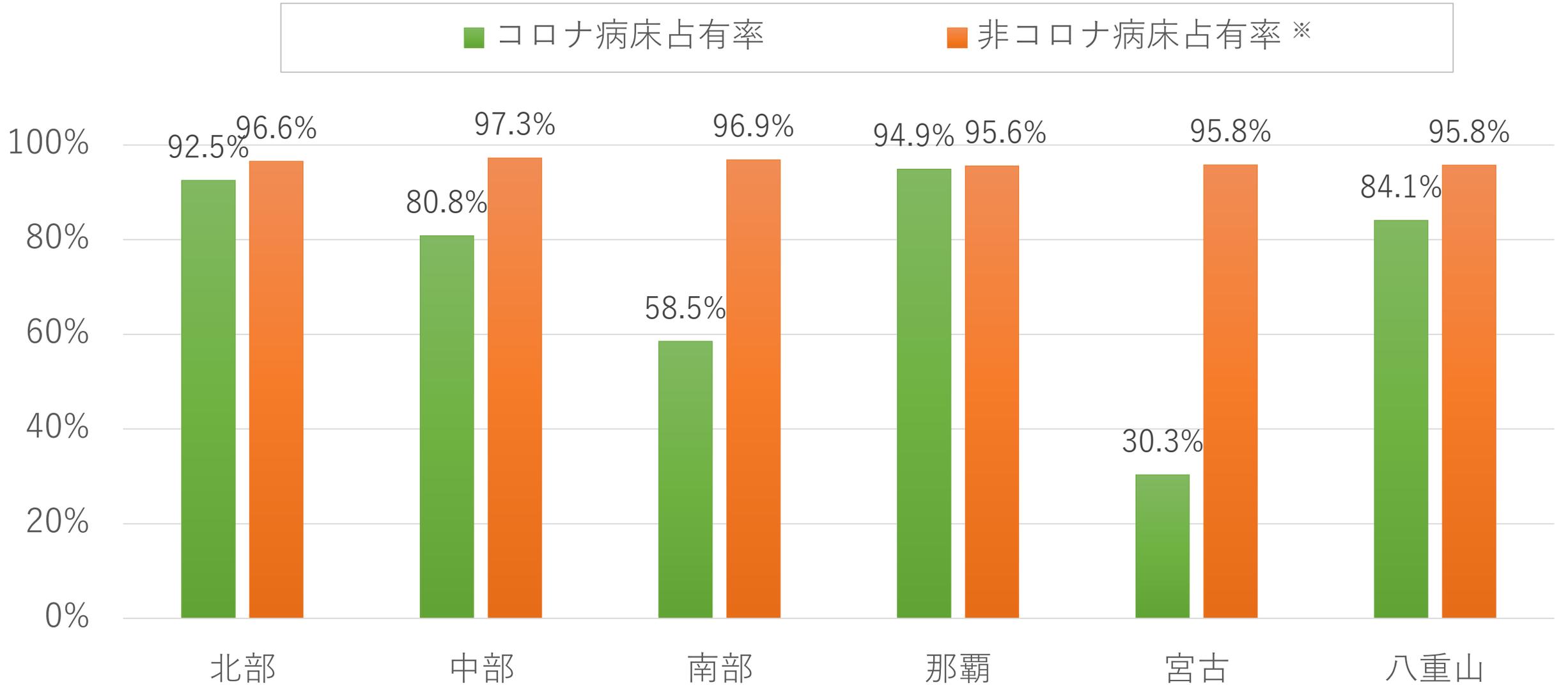


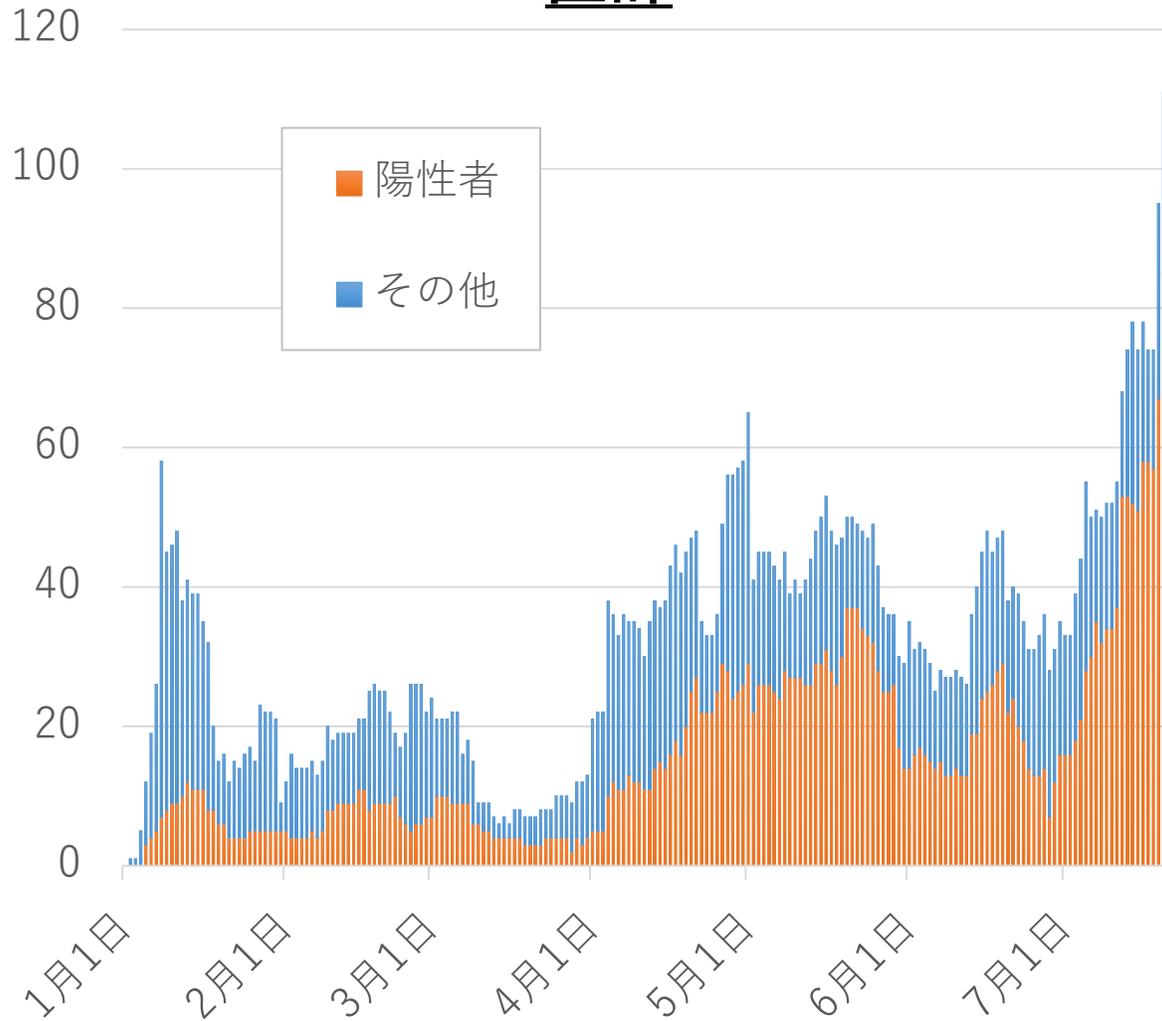
図 8 重点医療機関における病床占有率 (7月20日現在)



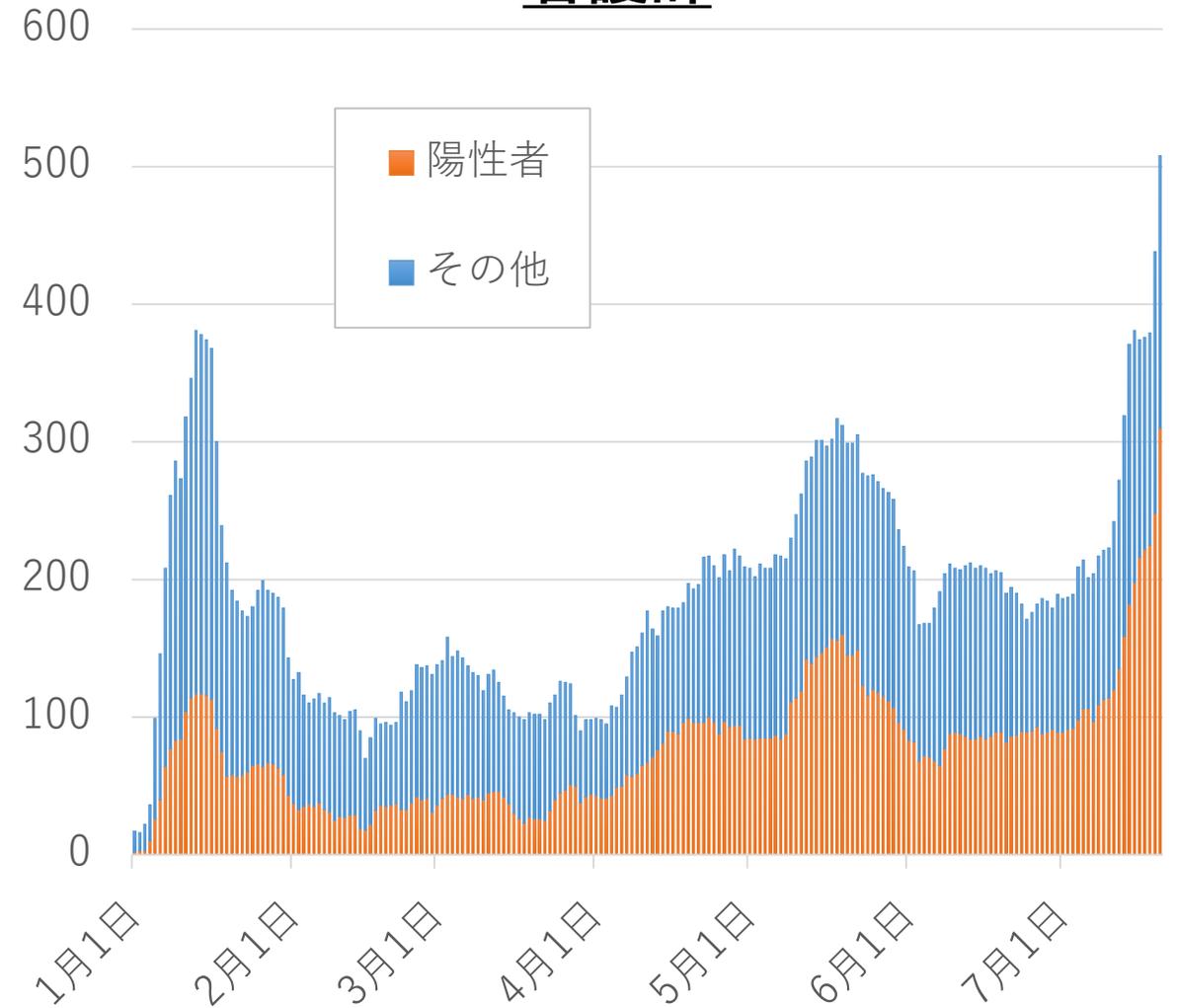
※ 救急受け入れをしている県内重点医療機関 16病院について集計

図9 重点医療機関における医師、看護師の休職数（沖縄県）

医師



看護師



※ 県内の重点医療機関 21病院について⁹集計

図10 社会福祉施設における施設内療養者数

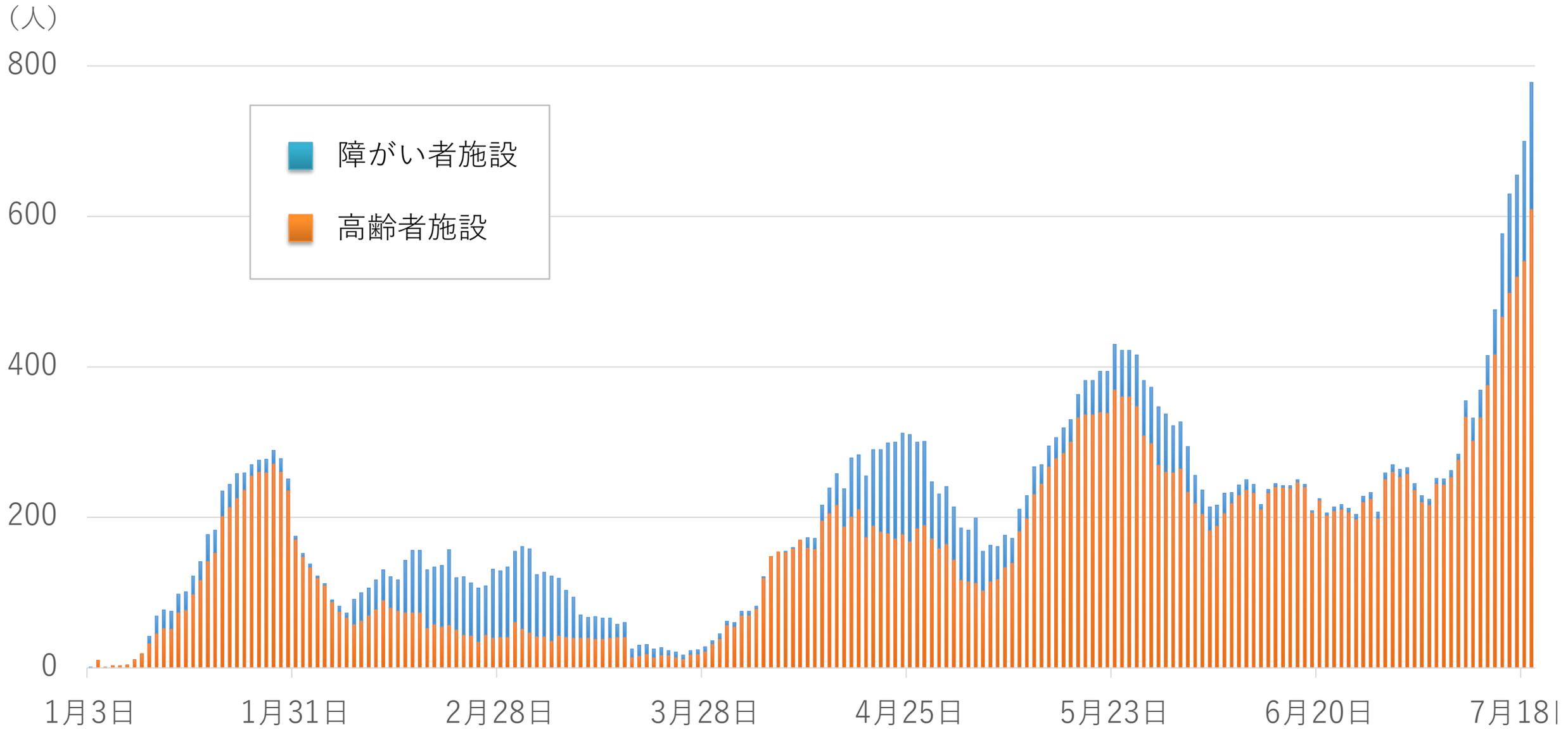
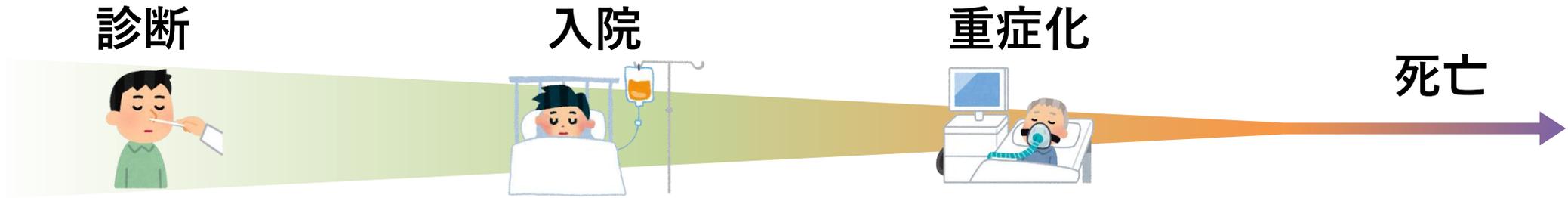


図11 コロナと診断された人は、どれくらい重症化しますか？

沖縄県内において、2022年1月1日から6月30日までに診断確定した感染者 204,711人について集計・分析した



20歳未満	320人に1人	3万5千人に1人	なし
20～49歳	90人に1人	5千人に1人	4万5千人に1人
50～69歳	30人に1人	1,600人に1人	3,800人に1人
70歳以上	4人に1人	120人に1人	150人に1人



図12 沖縄県における前週比（7日間移動平均）の推移



図13 救急医療がひっ迫する要因と求められる施策

コロナ疑いの軽症受診者の増加

- －市中においてコロナが急速に感染拡大しているため
- －近隣の診療所が感染拡大への対応に追いついていないため
- －医療費負担のない小児において流行が拡大しているため
- －自宅や施設における軽症者の注意点がわからないため

検査を目的とする受診者の増加

- －民間検査所や接触者検査センターの予約がとれないため
- －市販の抗原検査キット（医療用）の入手が困難であるため
- －陰性証明を求める学校や事業者があるため

救急全般における受診者の増加

- －社会全般の活動性が増して、体調不良者が増えているため
- －病床が不足して、不安定な自宅療養者が増えているため
- －活動的で、体調を崩しやすい観光客が増加しているため
- －高齢者施設における見守り機能が低下しているため

救急スタッフの休職・離職の増加

- －コロナに感染したり、濃厚接触者となっているため
- －ストレスが過重となり、働き続けることが困難なため
- －子どもが学校を休んでおり、自宅で見守る必要があるため

求められる14の施策

- ① 感染リスクの高いイベントに対し中止・延期を勧告
- ② 発熱者や検査に対応できる医療機関の拡充
- ③ 軽症者向けの自宅療養の手引きの作成と周知
- ④ 社会福祉施設への訪問診療体制強化（施設支援班）
- ⑤ 県が運営する接触者検査センターの体制強化
- ⑥ 県主導による抗原検査キットの確保と重点的配布
- ⑦ 陰性証明を求めないよう学校や事業者にも周知
- ⑧ 基礎疾患、妊婦等への体調管理について注意喚起
- ⑨ 急性期医療に集中できるよう入退院連携の強化
- ⑩ 事業者を通じて観光客の健康管理について注意喚起
- ⑪ かかりつけ医による搬送前の往診体制の強化を要請
- ⑫ 濃厚接触した医療従事者への確認用抗原検査の配布
- ⑬ 救急医療の状況説明と適正利用の強い呼びかけ
- ⑭ 医療従事者の子どもの保育施設・学童の確保



医療緊急事態版 コロナかな？ と思ったら

あなたを守り、医療を守るために協力いただきたいこと

2022年7月●日



沖縄県

	検査を希望するとき	受診を希望するとき
無症状	<ul style="list-style-type: none"> ● 県の設置する接触者PCR検査センター、または市中の民間検査機関を受検してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 症状を認めないときは、受診しないでください。不安なときは、かかりつけ医に相談しましょう。
軽症	<ul style="list-style-type: none"> ● 県の設置する接触者PCR検査センター、または市中のPCR検査所を受検してください。 ● 迅速に結果を知りたいときは、発症日の翌日以降、市販の医療用抗原検査キットで自己検査することもできます。結果が陽性のときは、抗原定性検査・陽性者登録センターに報告してください。 ● 小中高生では、症状を認めるとき、申し込むことで抗原検査キットが郵送されます（無料）。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 日中に近隣の診療所を受診してください。軽症での救急外来受診は、できるだけ避けてください。 ● 受診先が分からない場合には、県コールセンターに相談してください。 ● 急な子どもの症状で対処に迷うときは、#8000番に相談することができます。 ● コロナ感染が確定している方が受診されたいときは、お伝えしている連絡先に電話してください。
中等症以上※	<p>必ず受診しましょう ➡</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● かかりつけ医に相談するか、状態が悪いと判断したら早めに救急外来を受診してください。

接触者PCR検査センター（予約）



中部



南部



宮古



八重山

民間検査機関



抗原検査キット （購入案内）



小中高生向け （郵送申込）



陽性

発熱外来対応 医療機関



子どもの体調不良 見守るポイント



抗原定性検査 陽性者登録



※ 呼吸が早い・苦しい、もうろうとしている、ぐったりとしている、水分や食事がとれない、高熱が3日続いている、顔色が悪いなど